

# 令和5年度 自己評価結果公表シート

学校法人 諏訪森学園  
認定こども園 諏訪森幼稚園

## 1. 本園の教育目標

94年間にわたる歳月を、真面目に素直にこつこつと積み重ねてきた本園教育の発展の歴史を礎に、一人ひとりの子どもの個性を大切に、独自のカリキュラムにより、21世紀を担う子どもたちに限りない夢と希望を抱いて日々の保育実践を行う。

平成27年4月から、幼稚園と保育園の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園として一体的な教育・保育を行う。

### 【教育理念】

きらきら・わくわく 笑顔いっぱい 楽しい幼稚園

一人ひとりの子どもを大切にされた温かい環境の中で、友だちとのふれあい活動をたっぷり取り入れた、教育・保育実践により、笑顔いっぱいの明るく元気な子どもを育てる。

### 【教育目標】

(全体)

- ・幼児期にふさわしい生活習慣を育てる
- ・恵まれた環境の中で、豊かな感性を育てる
- ・友だちとの生活を通して、優しさと思いやりの心を育てる
- ・地域・学校園との連携を図り、心身ともに健康な子を育てる

(0～2歳)

- ・さまざまな遊びや経験を通して、豊かな感性を育む。

(3～5歳)

- ・友だちとの共同生活によって社会性・克己心・自己表現力などの習慣をつけ、就学前の基礎となる力を培う。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

### 【重点目標】

- ・園行事の精選  
コロナが収束に近づいた現状における認定こども園行事の保護者参加を模索する。
- ・豊かな体験活動  
作物の収穫等を通して食への関心を高め、心と体を育てる教育・保育を行う。
- ・身体づくり  
運動遊びや友だちとのコミュニケーションを通して、しなやかな心と体を養う。
- ・創作活動  
絵画や造形(作品展等)に取り組み、創造力を伸ばす教育活動を行う。
- ・表現力の育成  
歌や合奏・劇遊び(発表会等)などを通して、発達段階に応じた表現力を養う。

### 3 . 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況	
教育方針・目標	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本園の教育目標、重点目標を職員間で周知し、研究保育等、全教職員で子どもたちが主役になる保育・教育活動を創造し取り組んでいる。</li> <li>・幼稚園で育てるべき非認知能力の発達の鍵は、子どもが、自発的な遊びや活動、および環境や人との相互作用を、いかに豊かに展開できるかというところにあるため、0歳～2歳児は様々な遊びや経験を通して、豊かな感性を育み、それをもとに3歳～5歳児になると、友だちとの共同生活によって社会性・克己心・自己表現力などの習慣をつけ、就学前の基礎となるような力を培い、小中学校における学力の3要素に結び付けている。</li> <li>・体操・英語の専科指導、絵画・音楽の職員研修により幅広い教育活動を行っている。</li> <li>・保護者に対しては、入園説明会等を行い、方針・目標を伝え、園便りや毎日更新のブログ、懇談会、行事、理解を促した。</li> <li>・学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続をめざし、文部科学省から出されている架け橋教育の共通教育プログラムを共通理解している。</li> </ul>
教育課程の編成	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編成に関しては、子どもたちの実態を把握し、保育目標の設定と保育方針の共通理解を図っている。また、子ども達の在園生活への適応の状態と在園期間における発達の課程を見通したなかで、具体的なねらいと内容の組織・編成を行っている。</li> <li>・年度末に反省と改善の繰り返し、教育方針・目標に基づき、各年齢の応じたカリキュラムを編成し、週案を立て、共通理解し、見通しを持って日々の保育に取り組んでいる。</li> <li>・0歳児では3つの視点、1歳～5歳児では5つの領域のねらいや内容に留意し、具体的には幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿、生涯にわたる人格の形成をめざし、豊かな体験活動や、体育、音楽、絵画、英語など幅広い活動を経験できるよう様々な活動を多く取り入れている。</li> </ul>

<p>教育内容の保護者への周知</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在園時の保護者に対しては、ブログの更新、園だよりで、各月の取り組みについて、学年のねらいやカリキュラム、行事等を知らせることにより、子どもたちの園での様子を伝え、園での子どもたちの活動の様子や、明日の持ち物について、確認していただいている。</li> <li>・4月の家庭訪問、7・12月の個人懇談会等の機会を通じて、子どもたちの園での様子や活動内容を伝え、保護者に理解を促し、ともに保育活動を行っている。</li> <li>・入園希望の保護者には、常時、見学の機会を設け、本園の教育内容をお知らせし、入園説明会において、入園手続きを行っている。</li> </ul>
<p>教育環境の構成</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の保健的環境や安全の確保などに努めている。</li> <li>・子どもたちが多様な経験ができる「時間と空間」を考慮に入れ、1日の中でゆったり過ごす時間も、思いきり身体を動かす時間も確保している。</li> <li>・週案で、配置図等を取り入れ、活動する場所に置く机や椅子、棚など物的環境の配置を書き入れます。製作を行う場合は素材や道具の位置を明確にするなど、活動に応じた物的環境を設定している。</li> <li>・行事を実施するために、遊戯室、各教室、廊下、トイレの清掃消毒の徹底を図っている。また、引き続きタオルの使用を止め、各部屋にペーパータオルホルダー、手指消毒のためのディスペンサーを設置している。</li> </ul>
<p>教職員同士の協力・連携</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、朝礼、終礼を行い、その日の行事の確認と課題の共通理し、指導上配慮を要する子どもや長期欠席の子どもたちについて、情報を共通理解し、職員全体で配慮をして指導にあたっている。(キンダーカウンセラー・特別支援職員の配置)</li> <li>・主幹教諭を中心に、週案に記載されたカリキュラムの進捗状況を把握し、達成に向けて、話し合いを行っている。</li> <li>・行事においては、係に主任を置き、主任を中心に実施案を作り、準備・進行・後片付けなどで、教職員全員が協力し助け合って同僚性を高め合っていくようにしている。</li> </ul>
<p>研修・研究の充実</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園における「不適切な保育」をなくすために、「不適切な保育」を防ぐガイドライン、「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を中心に研修を進めている。</li> <li>・幼保推進課と連携し、本年度は10名が保育教諭がキャリアアップ研修を受け。他にも、管外研修にも職員を派遣し、保育の質を高めている。</li> <li>・本園の絵画・音楽の専科講師による長期休業中の実技、毎月の指導研修を行い、保育教諭のスキルアップを図っ</li> </ul>

		<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、新採用の保育教諭には、新任研修を位置付けて、丁寧な研修を実施している。</li> </ul>
健康・安全・衛生管理への配慮	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画令和5年度版を作成し、安全教育については、生活安全、交通安全、災害安全の内容、安全管理について教職員で共通理解して取り組んでいる。</li> <li>・本年度の重点目標に基づき、子どもたちの心身の調和のとれた発達の基礎を培うために、秋の登山などを冬の駆け足、なわとび運動を年間計画に位置づけ、それに基づいて取り組みを行っている。</li> <li>・行事を実施するために、遊戯室、各教室、廊下、トイレの清掃消毒の徹底を図っている。手指消毒のためのディスプレイを設置している。</li> <li>・常勤の看護師を配置することにより、園児の体調の変化・怪我については、担任のみで判断することなく、園長に報告し、看護師と相談しながら的確な判断のもとに、家庭と十分に連絡をとりながら、適切な対応に努めている。</li> <li>・コロナ、アデノ、インフルエンザ等の感染症予防対策として、手指消毒・手洗い・うがいの励行に加えて、感染症の流行があれば適宜判断し、ブログ等で保護者に周知している。</li> <li>・本年度より、食物アレルギーについては、食器の提供を行い、食器の色を変えるとともに、年度当初に保護者との連携を密にし、個々の子どもの実態に応じて、給食・おやつ等細心の注意をして対応している。</li> <li>・バス登園における事故の無いように、バス運行規則、添乗マニュアルを周知し、バス関係者と職員の共通理解を図った。</li> </ul>
安全管理体制の整備	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月15日を安全点検の日とし、安全点検を行い、職員の安全管理意識を育て、環境の安全管理の徹底を図るとともに、速やかな改善に努めている。</li> <li>・毎月避難訓練は保育中、遊放時、給食中、午睡中とあらゆる場面を想定して、非常災害時における職員の安全体制を確認するとともに、幼児の安全管理に対する意識を醸成している。</li> <li>・津波に関する避難訓練は本年度も小学校のご協力を得、園児職員全員で浜寺東小学校への避難訓練を行っている。</li> <li>・職員室で、監視カメラによって、外来者を的確に把握し、門の開閉を電気錠で開閉を行っている。・本年度より、ブログにID,パスワードを設定し、不特定多数が閲覧できないシステムに変えた。</li> </ul>

<p>情報の発信と受信</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる感染者の連絡があった場合、看護師が対応し、保護者に正しい知識を伝え、子どもの感染拡大を予防している。</li> <li>・投薬等についても保護者からの『おたより帳』、当園での『投薬管理簿』を活用し、個々の子どもの様子は、保護者と直接話したり、電話したりして、情報交換を行っている。</li> <li>・行事ごとにアンケートを実施し、保護者等の声を聞き入れ、改善できるように取り組んでいる。</li> <li>・ブログを活用し、0～2歳児、3～5歳児の情報を発信を積極的に行っている。</li> </ul>
<p>地域への開放と支援</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より、『園庭開放』『一時預かり』を再開し、保護者からの相談窓口として、地域の子育て支援センターとしての役割の一旦を担っている。</li> <li>・本年度はできる限り、園の行事、夏祭り・ふれあい遊びには、地域の方の参加を促した。しかしながら、ほとんどは参加していただけなかったが、全ての行事にご理解を頂いている。</li> <li>・運動会の練習場所の借用、開催場所借用の関係で3自治連合会をはじめ、地域の施設・団体との交流を図っている。</li> <li>・近隣道路への車の駐車については、迷惑にならないように保護者に再度連絡を行っている。駐車場に掲示物を貼り、バスの乗降や保護者の迷惑行為についても気を付けている。</li> </ul>

〔評価は3段階評価〕

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本年度は、新型コロナウイルス感染が収束に近づいたことにより、園としての活動の制限は大幅に取り除かれたので、様々な評価項目で、取組に対して、成果があったと考えている。

行事においては、これまでの制限は取り除いたが、これまでの取組を生かして、時間制や学年単位での取組を進めたため、就学前の基礎となるような力を効率的に培うことができるように計画し、子どもたちが楽しく本来の力が十分発揮できるように実施できた。保護者からも賞賛の言葉をいただいた。

幼保連携型認定こども園 諏訪森幼稚園として、保護者が安心して子どもを預けることができるように、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を見据えて、0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を一体的に連続して行うことを目標として、今後も今まで以上にカリキュラム・マネジメントに努めなければならない。

また、本年度は、「不適切な保育」を防ぐ研修を行うことにより、子ども中心の取組を行い、将来に向けてより望ましい人間関係・人格形成が行われるように、今まで以上に一人ひとりの人権を尊重し、最善の利益が守られるよう特に安心・安全に配慮しなければならない。そのために、乳幼児期の特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して教育及び保育を行うことを基本としたい。

行事のスリム化、職員の勤務時間の短縮、有給休暇の取得はある程度実現した。しかし、一部ではあるが、行事の前には勤務時間が超過することがあるので、今後も勤務時間の厳守をめざして、協力体制を充実させて時間短縮を進めたい。ただ、その場合も職員の達成感も大事にしたい。

## 5 . 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
<b>幼保連携型認定こども園としての教育・保育の推進</b>	<p>朝礼、終礼、堺市主催のキャリアアップ研修、研究保育により、0～5歳の繋がりを共通理解することができてきた。しかしながら、0～2歳と3から5歳の勤務体制の違いによる職員間の繋がりはまだ蟠りは十分に埋めることは難しい。</p> <p>今後も主体的な学びを実現するために、「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」の基づき、幼保連携型認定こども園の教育及び保育における資質・能力を育みたい。</p>
<b>教職員の資質向上</b>	<p>園の講師による実技研修、キンダーカウンセリング研修、堺市主催のキャリアアップ研修、研究保育、月1回の音楽・絵画研修を通して互いに高め合い、資質向上を図ってきた。しかしながら、時間の関係で外部関係団体との連携による園内研修はまだまだ充実させることはできていない。</p> <p>今後は、時間を確保することにより、外部関係団体の協力を得て、園内研修を推進するとともに、園外研修に積極的に参加し、それを伝達し、指導技術のスキルアップに努める。</p>
<b>姉妹園とのかかわり・交流活動の充実</b>	<p>本園(認定こども園)と姉妹園(幼稚園)の環境には違いはあるが、位置づけの違いをしっかりと踏まえて、それぞれの特徴を生かして子ども・保護者のニーズに応える保育活動をする必要がある。</p> <p>姉妹園の子どもたちとのかかわり・交流のあり方・内容等を検討し、計画的に交流活動に取り組む。</p>
<b>園に対する保護者の満足度の把握と連携の強化</b>	<p>行事については、アンケートを実施し、保護者の声やニーズの把握に努めるとともに、保護者代表のお世話係さん</p>

	との懇談会を行い、様々な意見を聞き、園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組む。
子育て支援の充実	<p>本年度は一時預かりを実施したが、今後はそれを充実し、子育て支援の輪を広げていきたい。</p> <p>本年度は園庭開放、遊びの広場を実施し、地域に開かれた園として取り組んできた。今後もこれらのことを充実させたい。</p>

## 6 . 学校関係者の評価

<p>堺市立浜寺東小学校</p> <p>入学当初は、なかなか慣れなかった子どもたちも、3学期に入り何事にも積極的に取り組む様子がみられます。特に友だちとの関わりも多く、とても優しく接することのできる子どもが多いです。学級ではリーダー的存在を発揮している子どもいて、発表するときなど進んで手を挙げている様子です。</p> <p>学習面では、デジタル教材を用いた計算や、問題文を読んで考えることにも、指導者の説明を聞きながらタブレットを使って回答することができ「発表ノート」などで楽しく学習に取り組んでいます。基礎的な書くことはとても読むことも十分できています。</p> <p>幼児期の指導が活かされ、手先が器用で表現が豊かなので、図画工作の作品作りはとても素敵な作品を作り、掲示されています。12月に行われた、幼稚園保育園児との交流会でも、お兄さんお姉さんぶりを発揮し、小さい子に対して、優しく丁寧に接する姿が成長を感じました。</p> <p>何事にも興味・関心を持ち、集中して話を聞く姿勢もあり、頑張り屋さんの子が多いです。どの子どもも個性豊かで楽しみながら学習に取り組んでくれるので、今後の成長が楽しみです。</p>
<p>堺市立浜寺小学校</p> <p>本校に入学した諏訪森幼稚園の子どもたちは、生活科の時間などに意欲的に取り組もうとする態度が見られます。また、教科や話し合いの時間においても積極的に発言しようとする子どもが多く見られます。</p> <p>学習面では、じっくり考えようとしたり、個性的なアイデアを出したりする子どもが多く、幼稚園での保育内容・方針がこの部分に出てきているのではないかと考えています。</p> <p>日常の生活では、友達に対して優しい声掛けができ、ルールを守って行動することができています。このことも縦のつながりがなくてはならないものであり、校種をまたいだ取組の成果と考えています。</p> <p>また、引継ぎが必要な子どもに関しては、小学校と幼稚園の職員間のつながりが大切であると考えており、今後もさらなる連携の必要性を感じています。</p>
<p>浜寺石津小学校</p> <p>一人ひとりの子どもを大切にしたい温かい環境の中で、貴園の「教育目標」に基づいた子どもの育成に力を注いでいることは評価できる。</p> <p>たくましい体・強くて優しい心を育む「身体づくり」、心と体を育てる「豊かな体験活動」、</p>

歌や合奏・劇などの「表現力」、絵画や造形などの「創作活動」などを通して、幼児期にふさわしい生活習慣や優かな完成を育てる指導を工夫し、子どもたちの成長に寄与している。

貴園の育成の結果、貴園の卒園生は本校入学後において、挨拶がしっかりでき、友だちと協力して仲良く過ごすことができている。学びに向かう姿勢も前向きで、粘り強く学習に取り組んでいる。また、係活動や当番活動も熱心に行い、自分の役割をきちんと果たそうと頑張る姿が見られる。

保護者に関しても、学校の教育活動に関心が高く、学校行事等に進んで参加していただく方が多い。学校に対しても協力的である。

以上、諏訪森幼稚園の評価は申し分なく高い評価ができる。

## 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。